

第1回第3次防府市子ども読書活動推進計画策定協議会 会議記録

- 1 開催日時 令和元年7月10日(水)午前10時～11時30分
- 2 開催場所 市役所1号館3階第1会議室
- 3 出席人数 19人
- 4 概要 (発言要旨の文書表現は、簡略化しています)

※協議会の会議記録の公開について

会議記録の「公開」については、委員の皆様にお諮りした結果、賛同が得られましたので、ここに会議要旨を公開いたします。

《教育長挨拶》

《委員自己紹介》

《会長・副会長選出》

(1) 資料説明

(2) 策定スケジュール 資料1

○事務局

今回は、昨年度の第2回推進連絡協議会で行った計画の進捗状況と成果の検証結果と本年6月現在の現状を確認し、それを基に、第3次計画について協議を行う。

会議後に第3次計画における具体的な取組について、意見を出してもらい、素案を作成。

10月の第2回協議会で素案について協議。

最終的に案としてまとめたものについて、1月にパブコメを実施し、2月の市会議でパブコメの結果について説明。パブコメの内容を検討・修正。同じく2月に、第3回策定協議会を開催し、委員の皆さまの意見集約、修正をしたのち、計画を策定。

(3) 策定の基本方針等 資料2

○事務局

国・県の動向と計画の基本方針(趣旨)を説明。国の第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画や県の第4次山口県子ども読書活動推進計画をふまえ、防府市の総合計画や教育振興基本計画、生涯学習推進計画などとの整合性・統一性をはかりながら策定する。計画期間は、令和2年から令和6年までの5年計画とし、構成は第2次計画を踏襲したい。

【質疑応答】

●委員

計画期間が市の諸計画期間とずれているがどう考えているか。

○事務局

子どもの読書活動に関しては、国や県の計画が策定されたばかりであるため、その方針に沿って、今後5年間の計画を策定したいと考えている。

●委員

図書館サービス振興基本計画も入れたほうが良いのではないかと。

○事務局

追加する。

●委員

多様化・高度化という表現はどうか、国や県は、普及啓発とされているが。

○事務局

質を高めるという意図であったが、表現を検討したい。

●委員

最初の策定(趣旨)の中で多様化・高度化ということがよくわからない。第2次計画では、質的充実を図るになっていたと思うが、具体的にはどういうことを行うのか。

○事務局

具体的には計画の中で記述するが、わかりやすい表現にしていく。

(4) 第2次計画の成果 資料3・4

○事務局

学校図書館の環境整備。(学校司書の増員、システムの活用、市立図書館の支援)

図書館管理室の設置、学校図書館コーディネーターの配置

各機関による、幼児期から絵本に親しむ機会を提供する取組により、読書に対する関心が高まっている。市立図書館の利用状況にも反映。(幼児・小学生の利用増加)

その他の統計データでも成果が確認できる。

(5) 現状と課題・施策の方向 資料5

○事務局

現計画策定時と状況が変化している部分を見え消しにしている。

地域の読書活動では、出前講座の内容の変化。

学校では、学校図書館のシステム化、ネットワーク化等による環境の変化により修正。

学校支援図書、図書館管理室による支援も追加した。

市立図書館では、BMのステーション増設、ビブリオバトル、出前おはなし会等を追加。

【質疑応答】

●委員

人材バンクの利用は、放課後子ども教室でも利用されているのではないかと。青少年育成協

議会でも読み聞かせは行われていると思う。学校図書館支援センターは今どういう状況にあるのか。

○事務局

放課後子ども教室については、調査する。

成果の中に「家庭の日」の青少年育成協議会のイベントでの読み聞かせを入れているので削除は不適切であった。

図書館管理室では、学校司書の派遣、市立図書館との連携による学校支援図書の実施、学校の読書イベントの支援などを行っている。また、図書室のレイアウト等の相談にも応じており、学校図書館コーディネーターによる情報収集と提供、学校への助言等も実施。

●委員

幼稚園・保育園における子どもたちの絵本に関する記述がない。図書の充実を是非加えてほしい。

一人当たりの蔵書数を把握して、子ども読書の質・量充実しているかどうか検討してほしい。

○事務局

調査して検討する。

●委員

幼稚園・保育園の取組の文言に誤りがある。(資料3、p. 7)

○事務局

修正する

●委員

子どもが本を読んで感想等を発表する機会はあるのか(アウトプットの機会がない。)

○事務局

小・中学校で、面白いと思った本を友だちに紹介したり、お互いに感想を言い合ったりといった読書活動が行われているので、この輪が広がると良いと考えている。

●委員

家庭における0才からの読書推進の取組に、わらべうたを加えてほしい。

●委員

BM(移動図書館車)の学校のステーションは、5校追加ではなく、全7校と表現したほうが良いのでは。

多言語サービスというところは、多文化サービスと言い換えたほうが良いのではないか。

○事務局

分かりやすい表現に修正する。

●委員

県の計画にもあるが、幼稚園・保育園の読書活動にも力を入れてほしい。

●委員

学校図書館支援センター機能の成果に、マニュアルと事例集の整備も加えてはどうか。

○事務局

追加する。

●委員

5年後の数値目標を設定してはどうか。

○事務局

統計等のデータを参考に目標値の設定を検討したい。

●委員

学校図書館振興計画はなくなったのか。

○事務局

学校図書館振興計画は、第2次計画と同時に終了するので、今後は以前のような長期計画ではなく、年次計画で学校図書館の充実を進めていきたい。

●委員

必要だから計画を策定したのではなかったのか。継続してはどうか。

○事務局

これまでの計画は、ハードの整備が中心だった。形は少し変わると思うが、学校図書館の振興計画を継続していきたい。

(6) 今後の予定

○事務局

今回の会議での御意見のほかにも提案や御意見、また、新たな取組等があれば添付の様式で事務局にお寄せいただきたい。

期間が短い、寄せられた意見等を一旦まとめて、委員の皆様に改めて御意見を伺う予定。

それを再び事務局でまとめて素案を作成し、次回の会議で協議していただく。

連絡協議会は1回の予定。策定協議の中で情報共有。